



2017.4.14 更新

氏 名 金 田 晋 (かなた すすむ)

生 年 昭和13 (1938) 年

職歴等

広島大学での最終所属部局 総合科学部

現職 広島大学名誉教授、元広島大学監事、東亜大学学園理事、東亜大学大学院特任教授、財団法人蘭島文化振興財団顧問、蘭島閣美術館名誉館長、ひろしま美術館理事、広島パブリックカラー研究会顧問他

専攻分野 美学、比較文化論

専門にかかわらない特技、趣味等

職歴等主な活動歴 美学会委員、日本現象学会事務局長、広島芸術学会会長等

地域での活動歴 広島県博物館協議会会長、東広島市美術館協議会会長、広島市文化財団評議員等

受賞歴 第61回中国文化賞 (中国新聞社、2004年)、広島教育賞 (広島県教育委員会、2008年)、地域文化功労者 (文部科学大臣表彰、2010年)

著書 『絵画美の構造』 (勁草書房、1984年)、『芸術作品の現象学』 (世界書院、1990)、『ヴァシリー・カンディンスキー』 P.A.リードル著/金田晋訳 (パルコ出版、1996年)、「芸術学の100年 日本と世界の間」編著 (勁草書房、2000年)、「1940-60年代広島美術」『1940-60年代広島洋画の粹』 (広島県立美術館、2004所収)、『美学の将来』 (広島芸術専門学校、2006)、「地方美術館に求められるもの-東広島市立美術館のあゆみにふれて」『東広島市立美術館開館30周年記念シンポジウム』 (東広島市立美術館、2010所収)、「其阿弥赫土の世界」『蘭島閣美術館開館20周年記念春季特別展其阿弥赫土』 (財団法人蘭島文化振興財団、2011所収)、「美はパブリックにあり」 (広島パブリックカラー研究会、2011、「PC研について-基本的な考え方」

(<http://www.pc-ken.jp/index.html>掲載)、「芸術の力について思うこと」 (広島芸術学会年報「芸術研究2011」、2011所収) 他

他に「美術ひろしま」編著 (広島市文化財団)



## マスターズでの活動

マスターズ幹事（代表2006～2012、～）

2008年市民講座 [（バロックの美術と音楽）](#)

2011-12年広島大学教養教育「[平和と人間A](#)」

—平和と哲学—カントと平和の哲学—

—平和の哲学—現代の諸問題と哲学の視点—

2011-12年広島大学教養教育「[平和と人間B](#)」

—平和と哲学—カントと平和の哲学—

—平和の哲学—現代の諸問題と哲学の視点—

2012年市民講座 [（風景画を楽しく学ぶ）](#)

2012年広島大学短期研修講座講師

（日本文化論—日本の絵画—絵巻物の世界）

2013年広島大学教養教育「平和と人間A」

—現代哲学と平和—

2013年TSS文化大学講師 [（旧暦の美学—生活とカレンダー）](#)

2013年広島大学教養教育「平和と人間B」

—現代哲学と平和—

2014年広島大学教養教育「平和と人間A」

—現代哲学と平和—

2014年広島大学教養教育「平和と人間B」

—現代哲学と平和—

2014年夏期、[広島大学日本語日本文化特別研修講師](#)

2014年市民講座 [（身近に日本刀を楽しもう—日本の伝統美に触れる—）](#)

2015～16年広島大学教養教育「平和と人間A」

—現代哲学と平和—

2015～16年広島大学教養教育「平和と人間B」

—現代哲学と平和—

2016年市民講座 [（2016年宇宙の旅—暦に見る暮らしと宇宙）](#)

2016年広島大学マスターズ創立10周年記念シンポジウム「学園都市・東広島の近未来を語ろう」シンポジスト [（東広島の文化と芸術）](#)

2017年広島大学教養教育「平和と人間A」

—現代哲学と平和—

2017年広島大学教養教育「平和と人間B」

—現代哲学と平和—

## 見聞録/随想

### (竹原)長善寺見学記

#### 地域社会での活動可能事項

○美術史に関する講座の講師 内容：美術史に関する入門的な講義を行う/時間：60～90分程度/対象：一般市民（教養初級）

○美術館での展覧会の鑑賞指導 内容：広島近辺の美術館に出向き、展覧会を鑑賞しながら、作品の中に含まれる意味を学習する/時間：60～90分程度/対象：一般市民（教養初級）

○美術作品の見方を具体的に学習する（ワークショップ） 内容：具体的な作品を前にして、それがどのような内容をもっているのか、考える/時間：60～90分程度/対象：小中学生

○美学に関する入門講座 内容：現代生活における芸術や美的文化の意義や役割について考えながら、美学の基本的問題をやさしく講義する/時間：60～90分程度/対象：学生、作家、一般市民（教養中級）

#### その他・PR

30年以上、広島の芸術文化の向上のために、大学作り、美術館作り、まちづくりに力を尽くしてきました。文化を高めるためには、施設やハコ物をつくるだけでなく、それを活用する人々の熱意と知力が必要だと、思います。人は石垣と言われます。人々の力の向上がまちを作ります。応援します。

21年度から東広島市市民ホール構想策定委員会の仕事をしています。26年度オープンの予定です。東広島市の芸術文化の拠点として、世界最高級の音楽や演劇に接しながら、東広島発の創造文化が発信できるようになればよいと思って、頑張っています。

もう一つ、東広島市立美術館では、4年前から4年周期で「Life and Art」という統一テーマを掲げて、絵画、版画、陶芸等の各芸術分野の展覧会を行っています。芸術と生活、産業の接する地点から、芸術造形の問題をもう一度問い直そうとする企画です。行く行くは、新しい活気に満ちた新美術館が東広島市にでき、広島や福山から、さらには全国から観客が訪れる美術館ができるといいな、と思っています。

